

株式会社 高洋商会

透明型枠や独自工法で、 建設現場に安心と安全を提供

納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



岐阜県庁舎（岐阜県）の大型屋根の建設にも貢献

業務 国内唯一の型枠メーカー

ビル建設用から橋脚、トンネル向けなど土木・建設現場で使われるコンクリート型枠（木製）の製造・企画設計・販売を手がける。楕円、球体などさまざまな形状に対応するほか、船底型枠や三次曲線型枠など複雑で特殊な型枠の製作も可能。また、橋脚やトンネルなどの施工に適した移動型枠や、型枠を固定するセパレーターを使用しない「ノーセパ工法」の提案力などが持ち味で、関西を中心に全国200社以上の工務店やゼネコンなどと取引する。同業者は全国に20社前後あるそうだが、山川広司社長は「鋼製支保工材なども製作しているのは当社だけ」と他社との違いを強調する。

強み トータルサポート体制で 高度な工事に対応

型枠製作から型枠を支える支保工計画・製造までトータルサポート体制を構築しているのが強み。これにより構造物の施工計画などスタート段階からゼネコン各社に直接営業することが可能で、オリジナル工法の提案などを行っている。そして、その体制を支えているのが熟練の大工の技を持った職人たちだ。山川社長は「同業他社では型枠大工などの下請け企業が主な顧客となるが、当社は違う」と胸を張り、技術集団であることを武器に、高度で付加価値の高い工事案件の獲得につなげている。

研究 透明樹脂製 コンクリート型枠を開発

開発力も持ち味で、ゼネコンからの

要望に応える形で製品化したのが透明樹脂製コンクリート型枠の「ミエールフォーム」。フレームは木製で、面板に厚さ10mmのアクリル樹脂を採用、従来の型枠との併用が可能。コンクリートの充填具合などが一目でわかるようにするほか、転用性も追求した。平成17年に社会問題となった構造計算書偽造問題（＝耐震偽装問題）をきっかけに、研究開発に着手。平成20年から販売を開始し、現在は面積単位で毎年5000㎡を受注する。曲面など特殊形状にも対応可能で、高い評価を得る。国土交通省新技術情報提供システムにも掲載（登録番号「KK-08044-VE」）されており、安心で安全な構造物建設に貢献している。



ミエールフォーム

今後の 展望 ニッチ分野で 技術と実績を積み上げ

最近3年間で8名を採用するなど会社規模が大きくなるほか、作業効率の向上を目的に現在と同じ大阪府岸和田市内で移転を検討中。また、2年ほど前に千葉県と岐阜県に営業所をそれぞれ配置したばかりで、山川社長は「地域による工法の違いや、プレキャストコンクリートの採用増などもあるが、地下鉄や下水・雨水処理施設といった地下構造物で需要はある」とし、営業に拍車をかける。大工の技能を持った人材の育成と技能伝承にも余念がない。新製品開発も注力している状況で、「ニッチ（すき間）な分野だが、技術と実績を積み上げていきたい」としている。

COMPANY PROFILE

株式会社高洋商会

大阪
27

当社の 歴史

コンクリート構造物を作るときに用いる型枠の製造販売を行っています。創業は昭和56年で、自らの過去の経験を生かして起業しました。特殊形状への対応力に加えて、型枠を支える支保工（しほこう）計画の提案、鋼製支保工材の製作、オリジナル工法の提案などが特徴で、自社製品も開発しています。



代表取締役 山川 広司さん

土木・建築用コンクリート型枠の職人集団です。

■主な事業内容
土木・建築用型枠の製造・
企画設計・販売

■主な取引先（納入先）
型枠大工、建設会社、
ゼネコン、建材商社など

住 所／〒596-0012
岸和田市新港町
7-2
T E L／072-439-3515
F A X／072-423-3191
創 業／昭和56年3月
設 立／昭和62年3月
資本金／1,000万円
従業員／30名

<http://www.kouyou-shokai.co.jp/>